

2019年度 エクセレントNPO大賞 Excellent NPO Awards

第7回 募集要項

「エクセレントNPO大賞」は、質の向上をめざし、自己評価を行いながら改善につとめる非営利組織を応援し、その活動が社会に「見える化」をすることを目的としています。



がんサポートコミュニティー
(東京都港区)

がん患者とその家族のために臨床心理士やソーシャルワーカー、看護師といった専門家による心理社会的なサポートを提供。世界最大のがん患者支援非営利団体 Cancer Support Communityの日本支部として2001年に設立された。



みらいの森
(東京都港区)

児童養護施設で暮らす子どもたちが平等に活躍する機会を得られる社会の実現を目指す。アウトドア活動を通じて生涯の糧となる体験の創出や、幸せで実りある成長のサポートを行う。

エイズ孤児支援NGO
・ PLAS (東京都台東区)



両親または片親をエイズで亡くした18歳未満の子ども＝エイズ孤児問題の解決に向けて、ケニアとウガンダで活動。エイズ孤児が自らの未来を前向きに切り拓ける社会の実現を目指している。



フードバンク山梨
(山梨県南アルプス市)



十分に安全に食べられるのに、包装や印字の不備等で販売できない食品等が日本では年間500～800万トンもあるとされ、それらを企業から寄贈してもらい、必要としている施設や団体に無償で提供しています。

《主催》



「エクセレントNPO」をめざそう市民会議 in 言論NPO

《共催》 毎日新聞

《協賛》 住友商事(株) 野村ホールディングス(株) 日本生命保険相互会社 日本たばこ産業(株)
(株)三菱UFJ銀行 SCSK(株) (株)りそなホールディングス

《協力》 (株)LITALICO

《後援》 内閣府 文部科学省 総務省 中央共同募金会 ドラッカー学会

日本国内では、5万を超すボランティア団体、非営利組織(NPO)がさまざまな分野で活動をしています。その中で、優れた団体の条件とは何でしょうか。

私たち「『エクセレントNPO』をめざそう市民会議」では、客観的な自己評価の能力を身につけたうえで、市民とのつながりをより強め、最終的に優れた結果を出すことだと考えています。すなわち、

組織運営の弱点を改善
しようと務める

組織力

より多くの市民の参加
と支持を得る

市民性

課題を正確に認識
して成果を出す

課題解決力

という3つの基本条件です。そして私たちは各条件に対応した合計15項目の自己評価基準を用意しました。

応募団体にはまず15項目について自己採点していただき、審査委員会がその結果と事業内容などを照らし合わせたうえで「市民賞」「課題解決力賞」「組織力賞」の3賞を決定します。

本賞は一部の卓越した団体の表彰が目的ではありません。審査を通じてNPO活動の質の向上をめぐる競争を促し、努力した団体にはより良質な支援が集まる好循環を生み出すことが目的です。このため、応募されたすべての団体の自己評価書(応募用紙)に対して、フィードバック・レターをお送りします。

多くの団体のエントリーをお待ちしています。

◎募集要項

【応募資格】

国内外における社会貢献を目的とした市民による日本国内のNPOなど種々の民間非営利組織(法人格の有無不問) ※自薦・他薦可

【応募期間】

2019年7月1日(月)～8月23日(金)必着

【応募方法】

・本賞にご応募される方は以下のアドレスから応募用紙をダウンロードしてください。

「エクセレントNPO 大賞運営事務局」(<http://www.excellent-npo.net/>)

・応募用紙はエクセル形式になっており、次の①～③シートによる3枚構成です。

①団体プロフィール(団体概要、事業報告書、会計報告書、役員はHPアドレス記入)

②自己評価表

③団体のストーリー

・記入した応募用紙は**応募専用アドレス**(info@excellent-npo.org)までメール添付にてお送りください。

・正しく受信ができた場合は受領メールが自動返信されます。もし受領メールが届かない場合には再度送信してください。

・ご不明な場合には、下記事務局までお問い合わせください。

【審査方法】

審査委員会により、エクセレントNPO基準に基づいて第一次審査、第二次審査を実施し、最終的な受賞団体を決定します。表彰式後、全ての応募団体にフィードバック・レターをお送りします。

【審査委員】 (敬称略)

小倉 和夫(国際交流基金顧問)、島田 京子(元横浜市芸術文化振興財団専務理事)、古賀 攻(毎日新聞社論説委員長)、目黒 公郎(東京大学生産技術研究所教授)、近藤 誠一(近藤文化・外交研究所代表、元文化庁長官)、安原 健郎(株式会社LITALICO)、山岡 義典(法政大学名誉教授)、渋谷 篤男(中央共同募金会常務理事)

【表彰】

2019年12月11日(水)に毎日ホール(毎日新聞東京本社地下1階)で表彰式を行います。各部門ごとにノミネートされた4～5団体をご招待し、その活動のご紹介とともに活動表彰を行います。その中から各賞受賞団体およびエクセレントNPO大賞受賞団体を発表いたします。ノミネートが決まった団体には事前にご連絡いたします。

【事務局】

応募受付・審査進行管理:「エクセレントNPO」をめざそう市民会議事務局

〒104-0043 東京都中央区湊1丁目1番12号 HSB鐵砲洲4階 言論NPO内

Tel. 03-6262-8772(平日9時30分～17時30分受付) Fax. 03-6262-8773(24時間受付)

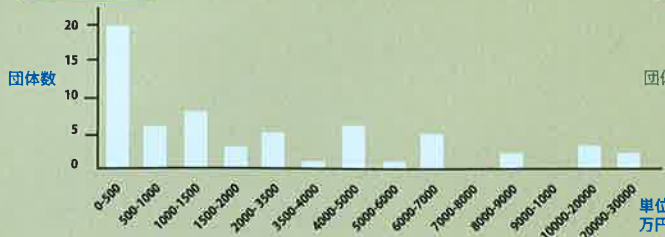
お問い合わせ用メールアドレス(enpo@genron-npo.net)



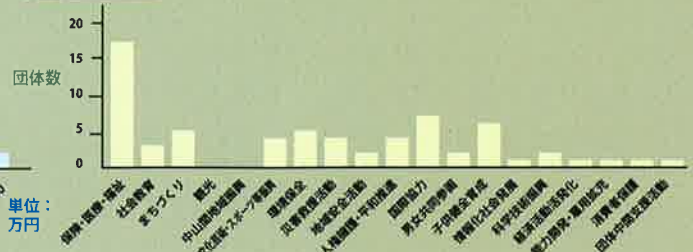
※第6回表彰式風景写真

応募団体は多種多様。規模もさまざまです。活動分野は保険や医療、福祉以外にも多岐に渡っています。(2016年度実績)

収入規模



活動分野



- ・収入規模は大小さまざまなものが比較的偏りなく分布しており、500万円未満が3割を占める点も全国的なNPOの団体規模の統計と一致しています。
- ・応募団体はバラエティに富んでおり、複数回にわたり応募される団体もあります。
- ・活動分野では医療福祉、まちづくり、環境、国際協力が比較的多いと言えます。2016年度は社会的な関心の反映か、子供に関係する団体が目立ちました。

◎賞の構成

「エクセレントNPO」の基本条件である「市民性」「課題解決力」「組織安定性」に基づき、下記の3つの部門賞が設けられています。また、各受賞団体の中から最も優れたNPOとして、「エクセレントNPO大賞」が決定されます。なお、基本条件の詳細については、認定NPO法人 言論NPO発行の言論ブログ・ブックレット⑩『改訂版「エクセレントNPO」の評価基準「エクセレントNPO」を目指すための自己診断リスト—初級編—』(写真右)をご参照ください。



●エクセレントNPO大賞 <賞状・賞金50万円>

「大賞」は、以下の3つの部門賞の受賞者の中から選ばれます。受賞団体は毎日新聞本紙、及び関係地方版でご紹介します。(ただし、一定の水準を超える組織がない場合は、該当者なしとする場合もあります)
※大賞賞金は、下記の賞金に加算して贈呈いたします。また毎日新聞の特集記事として掲載されます。

《部門賞》

●市民賞

<賞状・賞金30万円>



非営利組織の活動が広く市民に開かれている団体に与えられる賞です。
ここでは、ボランティアや寄付を通して参加の機会が提供されており、参加者に市民として成長できる場が十分に提供されているかが評価の視点となります。

●課題解決力賞

<賞状・賞金30万円>



自らの使命のもとで、社会的な課題解決に向けて成果を出している団体に与えられる賞です。
ここでは、明確な課題の把握、適切な解決方法、リーダーシップ、評価の力が問われます。

●組織力賞

<賞状・賞金30万円>



責任ある活動主体としてガバナンスが機能し、経営の持続性の維持と、自らの組織改善の刷新性をうまく共存させている団体に与えられる賞です。
ここでは、資金調達の透明性や規律、収入源の多様性、情報開示などが問われます。

◎これまでの受賞団体

第1回

市民賞：Youth for 3.11
課題解決力賞：高木仁三郎市民科学基金
組織力賞：スペシャルオリンピックス日本

第3回

市民賞：ママの働き方応援隊
課題解決力賞：にじいろクレヨン
大賞／組織力賞：シャプラニール
＝市民による海外協力の会

第5回

市民賞：アルテピアッツァびばい
大賞／課題解決力賞：Learning for All
組織力賞：ホームホスピス宮崎

第2回

市民賞：プール・ボランティア
課題解決力賞：多文化共生センター東京
組織力賞：かものはしプロジェクト
大賞／組織力賞：難民支援協会

第4回

市民賞：さぼうとにじゅういち
市民賞：ACE
大賞／課題解決力賞：SOS子どもの村 JAPAN
組織力賞：杜の伝言板ゆるる

第6回

市民賞：みらいの森
課題解決力賞：エイズ孤児支援 NGO・PLAS
課題解決力賞：フードバンク山梨
大賞／組織力賞：がんサポートコミュニティー

審査について

「エクセレントNPO大賞」の審査は、応募者の皆様と同様にエクセレントNPO評価基準を用いて行われます。

※「エクセレントNPO評価基準」の著作権は特定非営利活動法人 言論NPOに帰属します。

私的かつ非商業目的で使用する場合や、その他著作権法により認められる場合を除き、事前に言論NPOの書面による許可を受けずに、複製・公衆送信・改変・削除・ウェブサイトへの転載等の行為をすることは、著作権法により禁止されています。

◎本賞応募の際の自己評価基準

●市民性

- ボランティアが参加する計画を持ち、ボランティアの役割が明確に定められていますか。
- ボランティアの機会が人々に開かれ、その活動内容はわかりやすく伝えられていますか。
- ボランティアに対して事前の説明や研修等を行なっていますか。
- ボランティアに対してふり返りやフィードバックの機会を作り、感謝の気持ちを伝えていますか。
- 寄付者に安心感を持ってもらえるように寄付の使途や成果などについて報告をしていますか。

●課題解決力

- 組織は取り組んでいる社会問題や課題を把握し、明確に理解していますか。
- 組織は自らに取り組む社会問題に関連して、目前の問題のみならず、その根本にある問題に目を向け、法制度や慣習など、社会の仕組みにかかわる問題を視野に入れていきますか。(社会的インパクトの視点)。
- 組織は事業を予定どおり実施したことだけでなく、事業の対象(人および自然環境などの人以外のものも含む)へのプラスの影響や変化を成果として目指していますか(アウトカム目標)。
- リーダー役を担う者は、課題解決のために中心的な役割を担い、また組織内外の専門家、資金などの資源を組み合わせ、それらをうまく機能させるためにマネジメント力を発揮していますか。
- 組織は掲げた目標(アウトカム目標)に基づき成果を出しており、それを根拠(データや事例)をもって説明できますか。
- 自らの組織が取り組む社会課題を広く社会に理解してもらうよう努めていますか。

●組織力

- 組織の全体像が明確に説明されていますか(H P等に、組織の目的、活動内容、連絡先、事業報告書、会計報告書、役員一覧等が説明されている)。
- 広く多様な主体から資金を集め、特定の資金源に過度に依存するリスクを回避できるように収入多様性を維持していますか。
- 資金調達のプロセスは透明で、公序良俗に反する行為による資金は受け取っていませんか。
- 職員が組織の使命・目的を理解した上で仕事に取り組み、スキルアップできるように助言・相談や教育の場を設けていますか。

* 本表彰は自己評価が適切に行われたかを重視して審査が行われます。全項目において満点をつけるのではなく、組織や活動における課題を見据え、その課題を克服するための工夫や対応を示すことが重要です。こうした点に注意して適切な自己評価結果を記してください。

* 応募用紙をダウンロードしていただくと、項目ごとに自己採点時の注意点や評価のポイントが記されています。記述の際にご参照ください。

* ご不明な点やご質問は、メールアドレス(enpo@genron-npo.net)までお問い合わせください。

<http://www.excellent-npo.net/>

※「エクセレントNPO」をめざそう市民会議は言論NPOが組織し、事務局を務めています。